



このレポートは、私・和仁が毎月のコンサルティング活動や日常生活を通して気づき、学ばせて頂いたことを書き留めたものです。
お気軽にご笑読頂ければ幸いです。

【今月の気づき】



『ひらめきが生まれる場に、身を置いてみる。』

先日、3年ぶりにある日本画家の知人と会い、近況を語り合う機会がありました。彼は40代の若さにして明治神宮をはじめ様々な神社に絵画を奉納しているほどの方です。最近、ロシアやニューヨークでも個展が開かれたとのことで、そこでのビジネスの可能性を熱く語ってくれました。

「和仁さん、ニューヨークはやっぱりすごい。いずれそこに身を置いて仕事ができるよう、環境を整えようと思っている。まずは先日の個展開催のときに現地に会社も設立して・・・」

芸術分野の方が、ビジネス的にいかにキャリアを築き、ダイナミズムのある生活を満喫するかを語っている姿はなかなか新鮮で、刺激的でした。

その3日後。彼の言わんとしたことが腑に落ちる一言を耳にしました。それは、以前バリで行われた講演でカレン・キングストンが話していたのを、一緒に聞いた知人から聞かされた一言です。(わたしはすっかり忘れていた、というか、英語だったので多分聞き逃していた)

「東京やニューヨークなどの人が多い場所にいくと、アイデアやひらめきが得られやすくなる。なぜなら、人がたくさん集まる場所には、『**思いついたのに実行されないままのアイデアがたくさん漂っていて、それを実行してくれる次のオーナーを探している**』からだ」

これ、一見荒唐無稽に聞こえるかも知れませんが、わたしは感覚的にすごくよくわかる思いがしました。実際、わたしは企画を練るときや本の執筆はなるべく事務所から出て、ホテルのラウンジやカフェなど人が多いところに足を運ぶ習慣があります。それは、「なんとなくそのほうが快適だから」ぐらいに思っていたのですが、今振り返れば、たしかにひらめきが得やすいのです。同じ理由で、わたしは名古屋在住ですが、週1回ペースで東京に足を運びます。もちろん予定があるからですが、ほんのちょっとした案件が1つあるだけでも、躊躇せず足を運びます。それは、東京の場に身を置くことで、のどかな田舎では得られない刺激を浴びたいからなのかも知れませんが、そう考えると、「インスピレーションをキャッチしに行く」つもりで、あえて人の集まる場所に足を運ぶのもありだと、改めて思えました。

あなたは日頃、ひらめきが生まれる場に、身を置いていますか？

【今月の一冊から】

『「自分で考えろ」と言う前に、すべきこと。』

「考えることができる人材が欲しい」というのも、よく聞く言葉だ。自主的に考えることができる人材など、よほどのことがない限りお目にかかれないかのように嘆くリーダーもいる。しかし、あなたのビジネスにおいて考えることって何だろうか。まさか「素粒子物理学と核物理学における自発的対称性の破れ」といった類のことを考えるのではないはずだ。私も同様だが、ビジネスにおいて「考える」とは、決まった枠の中だけでのことなのだ。「その問題なら、こういう考え方があるよね」と問題解決の方法を、何パターンかフレームで示してあげればいいだけのことだ。「自分で解決方法を考えろ」「いちいち人に聞こうとするな」などと言っているうちに利益は遠ざかっていくのではないだろうか。

（組織が大きく変わる『最高の報酬』 石田淳 著
日本能率協会マガジンセンター P.82 より引用）

あまりにも【考えない人】の仕事ぶりを見ると、「もっとよく考えてやってくれ」と言いたくなることがあります。しかしながら、指示を具体的かつ明快にすれば、普通のパートさんにも、期待通りの仕事をやってもらえたりします。

たとえば、「**セミナー参加者の注文メールから名簿を拾ってリストをつくって**」と指示した場合。【考えない人】に任せると、すべての項目を無目的に網羅して、ファイル名には規則性がなく「(ファイル自体が) 見つけにくく、内容がわかりにくい」状況になります。

一方、【考える人】なら、ファイル名を「●●セミナー参加者リスト/0908」のようにルール化をします。内容も、表の左側から必要な項目と順番を考え、「会社名」「役職」「名前」「入金の有無」「事前案内の送付の有無」と、パッと見て進捗状況がわかるように工夫し、再現性のあるフォーマットをつくります。でも、現実にはそこまで考えてくれない場合の方が多い。ならば依頼するときに、こちらから、もう一言添えてみてはどうでしょうか。

「今後もセミナーのたびに必要だから、**次からも使えるようファイル名と表の項目を工夫して、漏れやミスが起きないように、パッと見ただけで参加者ごとの参加手続きの完了度合がわかる**リストをつくってほしい。もし不安なら、**データを入力する前にフォーマットをつくった時点で見せてくれれば、アドバイスするから**」

つまり指示する側が先回りして考えることで、お互いに余計な仕事が減るわけです。指示した後にイライラするぐらいなら、あらかじめ指示の仕方を具体的かつ明快になるよう、ちょっと考えてみるほうが、精神衛生上も良いのではないかと思います。